ConMas i-Reporter

DocuWorks出力機能 DocuShare連携機能

2015-04-01 初版を発行 2015-07-03 V5.0 2015-08-03 V5.0機能強化版その2

株式会社シムトップス

Copyright © 2015 CIMTOPS CORPORATION - All Rights Reserved.

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-04-01	V4.4		初版を発行しました。
2015-07-03	V5.0	p.14	ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追記しました。
2015-08-03	V5.0機能強 化版その 2	p.14	ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追加しました。 {date}, {dateTime},{time},{publicStatus}



•	DocuWorks/Doc	cuShare連携概要	4
•	DocuWorks出力	(フォルダー構成)	5
•	DocuWorks出力	(ConMas Manager)	6
•	DocuWorks出力	(DocuWorks文書生成プログラム)	7
•	DocuWorks出力	(手動実行と確認)	8
•	DocuWorks出力	(ConMas Manager 手動ダウンロード)	9
•	DocuWorks出力	(自動実行)	10
•	DocuShare連携	(システム設定)	11
•	DocuShare連携	(連携設定画面の表示)	12
•	DocuShare連携	(連携設定)	13

DocuWorks文書生成 · DocuShare(ApeosWare Flow Management)連携概要

- ●自動ファイル出力で出力されたPDFファイルをDocuWorks文書ファイルに変換し、自動で出力します。
- ●DocuWorks文書の生成は専用プログラムによりバックグラウンド(非同期)で生成されます。
- (※本機能の利用には「DocuWorks 8」のインストールが必要です)
- DocuShare連携設定をすることにより連携に必要なCSVファイル出力、連携出力先の共有フォルダーへのファイルコピーを行い、 ApeosWare Flow Managementを介してDocuShareに連携することが可能です。



Copyright © 2015 CIMTOPS CORPORATION - All Rights Reserved.

DocuWorks出力(フォルダー構成)

●[ドライブ]:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥ 配下は以下の構成となっています。

🎳 ConMas		
🐌 SettingFiles		
\mu xml		
鷆 interface	•••interface	基本フォルダー
鷆 report	• • report	基本フォルダー
\mu DW -	•••DW	基本フォルダー
🐌 ConMasCreateDW	••ConMasCreateDW	プログラムフォルダー
퉬 error	• • error	予期せぬエラーが発生したキューの格納場所
🌗 failure	••failure	生成、転送に指定回数失敗したキューの格納場所
iog 👔	•••log	ログファイル格納場所
iii pool	•••pool	DocuWorks文書生成キュー格納場所
瀇 report	•••report	DocuWorks文書出力先ファイル格納場所
success	• • success	生成・転送に成功したキューの格納場所

※上記フォルダは必ず必要です。

※ConMas i-ReporterのDocuWorks出力機能が稼働しているサーバーには DocuWorksプリンタを使用する他のアプリケーション/システムやWindowsの通常使うプリンタを使用して 印刷を行うアプリケーション/システムを設置しないでください。 アプリケーション/システム間の競合によって、DocuWorks出力機能、および、 他のアプリケーション/システムが誤動作を起こす恐れがあります。

DocuWorks出力 (ConMas Manager)

●帳票の自動出力設定

必ず、共通マスター設定にて帳票保存時の自動出力設定がされている必要があります。

ConMas Manage	er							0%	ブイン中: <u>Administrator</u> [ログアウト] Version:4.35288	
帳票定義 入力帳票	デー	夕一出力	自動	長票作成 ラベル	管理 図書管理	スケジュール	カスタムマスター	システム	ム管理	
^B システム管理 ユーザー管理	共通	マスター覧					0	UTPUT_SE	etting • +	
- グループ管理 - 端末管理 - メール通知設定 - <mark>共通マスター管理</mark> - 閲覧参照用ファイルアップロード	N	o 共通+一	共通項目インデックス	共通項目名称			共通項目値			
ダ人ク管理	0	OUTPUT_SETTI	NG 0	BASE_FOLDER	C:¥ConMas¥SettingFiles¥output¥[date}¥				
テーター取り込み	1	OUTPUT_SETTI	NG 1	BASE_FILE	{repTopId}					1
「帳票ロック一括解除	2		NG 2	DATE FORMAT	yyyyMMdd			/		
			NG 3	DATETIME_FORMAT	yyyyMMddHHmmss				■PDF ← true	
< Þ	4	001901_5E111	NG 4		SELECT CASE rep_sheet_count W REPLACE(cluster_name,"",""") REPLACE(file_name,",""") WHEN rep_sheet_count, rep_top_id, rep_sh	/HEN 1 THEN " ELSE '''' n '''' ',''' CASE cluster_type I 'Image' THEN REPLACE(fil reet_no, CLUSTER ID, cluste	ep_sheet_no '''' ',' END ''' e WHEN 'FixedText' THEN REPLA e_name,''',''''') ELSE REPLACE(ir er_name, cluster_type, input_value,	CLUSTE ACE(file_i input_valu	目動出力でPDFファイルを出力します。 ※DocuWorks文書の元となるPDF文書を 必ず出力しておく必要があります。	
	5	OUTPUT_SETTI	NG 5	csv	rep_sneet_count, rep_top.rep_top.re THEN display_value ELSE input va rep_sheet_no '_ 'cluster_' CLI 'cluster_' CLUSTER_ID 'png' W 'png' ELSE " END "file_name", i rep_cluster ON rep_cluster.rep_she CSV_DATA	g, rep_sheet_no, CLUSTER,IL slue END,'') "input_value", C USTER,ID ',npg' WHEN clu /HEN cluster_type = 'Image' mage_file FROM rep_top INN set_id = rep_sheet_rep_sheet_	J. cluster name, cluster type, CO. XASE WHEN cluster type = 'Fixed' ister_type = 'FreeText' AND image AND image file IS NOT NULL TH IER JOIN rep_sheet ON rep_sheet jd WHERE rep_top.rep_top_id = to	ALESCE IText' AN Ie_file IS I IEN rep_s trep_top op_id ORI	■XDW ← true 自動出力でDocuWorks文書ファイルを	
	6	OUTPUT_SETTI	NG 6	IMAGE	true				出力します。	
	7	OUTPUT_SETTI	NG 7	XML	true					
	8	OUTPUT_SETTI	NG 8	PDF	true)		■XDW MANUAL OUTPUT	
	9	OUTPUT_SETTI	NG 9	TMP_XML	false				ConMasManagerの帳票詳細面面で	
	1	0 OUTPUT_SETTI	NG 10	FINISH	true				DocuWorke文書をグウンロード可能にします	
	1	1 OUTPUT_SETTI	NG 11	CSV_ENCODING	65001				ししていている文目をクランロート可能にしより。	
	1	2 OUTPUT_SETTI	NG 12	EDIT	true					
	1	3 OUTPUT_SETTI	NG 13	CSV_MODE	1					
	1	4 OUTPUT_SETTI	NG 14	EXCEL	true				※ファイル名、出力フォルダ等のその他出力設定は	
	1	S OUTPUT_SETTI	NG 15	CSV_OUTPUT	true				通常の自動ファイル出力設定に依存します。	
	1		NG 10		true			<hr/>		
	1		NG 18		true				※設定前に登録された帳票にはDocuWorksのダウ	
	1		NG 19		true				いロードボクンけまテナカキサム 百度 帳票を	
	2		NG 20	CSV ZIP	true					
	2	1 OUTPUT SETTI	NG 21	EXCEL OUTPUT MODE	0				Conmasi-Reporterより登録し直9ことで対応可能	
	2	2 OUTPUT SETTI	NG 22	DATA OUTPUT	true				となります。	
	2	3 OUTPUT SETTI	NG 24	XDW	true					
	2	4 OUTPUT SETTI	NG 25	XDW_MANUAL_OUTPUT	true					1

DocuWorks出力(DocuWorks文書生成プログラム)

●プログラムは以下のフォルダーに格納されています。
 [ドライブ]:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥interface¥report¥DW¥ConMasCreateDW
 ※文書プログラムは多重実行せず、指示された変換を順番に漏れなく実行します。

●「ConMasCreateDW.exe.config」を環境に合わせて設定します。

El ConMasCreateDW.exe ・・・DocuWorks文書生成プログラム

ConMasCreateDW.exe.config ・・・DocuWorks文書生成プログラム設定ファイル

🚳 xdwapiwn.dll

••• DocuWorks文書生成DLL

DocuWorks生成プログラム設定ファイル(ConMasCreateDW.exe.config)

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<configuration>
<appSettings>
<!-- **** パス ***** -->
<add key="ClientSettings" value="C:¥ConMas¥SettingFiles¥xml¥interface¥report¥DW¥" />
<!-- **** 失敗回数 ***** -->
<add key="MaxFailures" value="3" />
<add key="MaxFailures" value="60" />
</appSettings>
</configuration>
```

ClientSettings

:配置したinterfaceフォルダ内の¥report¥DWフォルダを指定します。

MaxFailures

:リトライ回数です。指定回数失敗するとpoolからfailureに移動します。(既定値は3回です)

CreationTimeout

:生成が完了するまでの監視タイムリミット(秒)です。(既定値は60秒です)

※リトライ回数、タイムアウト値はネットワーク環境、変換対象のファイルサイズに合わせて 必要に応じた調整を行ってください。

DocuWorks出力(手動実行と確認)

● 設定が完了したら、まずは手動でプログラムを実行し、正しくXDWファイルが作成されることを確認します



DocuWorks出力(手動ダウンロード)

●DocuWorks文書出力済みの帳票に付いては ConMasManagerよりDocuWorks文書を手動でダウンロード可能です。



DocuWorks出力(自動実行)

● WindowsタスクスケジューラーにConMasCreateDW.exeの定期実行を登録することで 定期的にDocuWorks文書を自動生成することが可能です。

 タスクスケジューラ ファイル(F) 操(F(A) マークション (C) タスクスケジューラ (C) マークション (表示(V) ヘルブ(H) ◆ タスクの作成 × 全般 FUガー 操作 設定 名前(M): ConMasCreateDW 場所: ¥ConMas (作成者: cimtopspub01¥cimtops 説印(D): ビキュリティオブション・ タスクの実行時に使うユーザー アカウント: cimtopspub01¥cimtops ユーザーまたはグループの変更(U) ① ユーザーがログオンしているときのみ実行する(R) ③ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W) 「 パスワードを保存しない (P)タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ 「 最上位の特権で実行する(D) 「 表示しない(E) 構成(C): Windows Vista", Windows Server" 2008 ▼	<u> していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい</u>	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	OK キャンセル		② 自動 ア ア

※より短い間隔で定期実行するとリアルタイムに近い間隔で変換が実行されます。 ※プログラムは多重起動せず、

起動際にpoolフォルダに存在したxdw変換指示ファイルを全て処理します。

※Windowsタスクスケジューラーの基本的な設定方法は以下をご参照ください。

[タスク スケジューラを起動する] https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc721931.aspx

[タスクスケジューラの操作方法] https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc766428.aspx



DocuShare連携(システム設定)

●帳票の自動出力設定

必ず、共通マスター設定にて帳票保存時の自動出力設定がされている必要があります。

ConMas Manage	r						ログイン中: <u>Administrator</u> [ログアウト] Version 43 5288
帳票定義 入力帳票	デー	ター出力 自!	動帳票作成 ラベル	管理 図書管理	スケジュール	カスタムマスター	- システム管理
^白 ・システム管理	共通	マスター覧					
ユーリー 目生 - グループ管理 - 端末管理 - メール通知設定 - <u>共画マスター管理</u> - 閲覧参照用ファイルアップロード	No	p 共通+一	共 通 百 日 イ 共 逆 項 日 名称 デ ック ク ス			共通項目値	ケ ル
タ人ク管理	0	OUTPUT_SETTING	0 BASE_FOLDER	C:¥ConMas¥SettingFiles¥output¥((date)¥		
データー取り込み	1	OUTPUT_SETTING	1 BASE_FILE	{repTopId}			
「帳票ロック」 括解除	2	OUTPUT_SETTING	2 DATE_FORMAT	yyyyMMdd			
ーライセンス	3	OUTPUT_SETTING	3 DATETIME_FORMAT	yyyyMMddHHmmss			■DATA_OUTPUT ← true
<	4	OUTPUT_SETTING	4 TIME_FORMAT	HHmmss		/	DocuShare連携フォーマットCSVを出力します。
	5	OUTPUT_SETTING	5 CSV	SELECT CASE rep.sheet.cont W REPLACE(ide name,""") REPLACE(ide name,""") REPLACE(ide name,""") rep.sheet.cont, rep.top.id, rep.sh rep.sheet.cont, rep.top.id, rep.sh rep.sheet.noil, ' cluster,' CL 'cluster,' CLUSTER, ID 'J.png' 'ng' ELSE' END 'file name', i rep.cluster ON rep.cluster.rep.sh CSVQATA	WHEN 1 THEN " ELSE "" re "" "," CASE cluster type Vimage "THEN REPLACE(file heet no, CLUSTER JD, cluste d, reg sheet no, CLUSTER JD alue END ,") "input value", C USTER JD "non" WHEN clust "HEN cluster Type - "Image" / image file FROM rep top INN eet jd = rep sheet rep sheet j	p sheet no '''' ', ' END WHEN 'FixedText' THEN name,'''''''' ELSE REF r name, cluster type, in), cluster name, cluster ASE WHEN cluster t Ster type = 'FreeTe NAD image file IS N ER JOIN rep_shee d WHERE rep_tor	■PDF ← true PDFファイルを出力します。 ■EXCEL ← true
	6	OUTPUT_SETTING	6 IMAGE	true			EACELノアイルを山力します。
	7	OUTPUT_SETTING	7 XML	true			
	8	OUTPUT_SETTING	8 PDF	true			■XDW ← true
	9	OUTPUT_SETTING	9 TMP_XML	false			自動出力でDocuWorks文書ファイルを出力します。
	10	OUTPUT_SETTING	10 FINISH	true			
	11	OUTPUT_SETTING	11 CSV_ENCODING	65001			
	12	OUTPUT_SETTING	12 EDIT	true			
	13	OUTPUT SETTING	13 CSV_MODE	1			編集保存時に各ノアイルを出力します。
	14	OUTPUT_SETTING	14 EXCEL	true			
	15	OUTPUT_SETTING	15 CSV_OUTPUT	true			■FINISH ← true
	16	OUTPUT_SETTING	16 CSV_MANUAL_OUTPUT	true			完了保存時に各ファイルを出力します。
	17	OUTPUT_SETTING	17 PDF_MANUAL_OUTPUT	true			
	18	OUTPUT_SETTING	18 EXCEL_MANUAL_OUTPUT	true			※PasseChaus)声推加理後た白動山もさわたフラブルは
	19	OUTPUT_SETTING	19 PDF_LAYER_ENABLE	true			※DocuSnare連携処理後も自動出力されにノアイルは
	20	OUTPUT_SETTING	20 CSV_ZIP	true			BASE_FOLDER指定のフォルタ内に残ります。
	21	OUTPUT_SETTING	21 EXCEL_OUTPUT_MODE	0			
	22	OUTPUT_SETTING	22 DATA_OUTPUT	true			
	23	OUTPUT_SETTING	24 XDW	true)	
	24	OUTPUT_SETTING	25 XDW_MANUAL_OUTPUT	true			

DocuShare連携(連携設定画面の表示)

● DocuShareへの連携設定は 「ConMasManager」-「データー出力」の「出力項目の選択」画面にて行います。

「データー出力」タブ選択後、対象の定義、	
帳票を選択する必要があります。 (※実際に出力する必要はありません)	J C ログイン中:matsuo [ログアウト] Version:4.2.4576
(本天际に山)リックが安はのウクるという	▶ データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理
- 小票選択へ戻る 140 keyboard	出力項目の選択 この定義の出力項目設定を保存する(自動出力用) 、
	▼データー出力対象の幅原を表示する 初期状態は設定ブロックが閉じていますので
	▼クラスター詳細の出力設定
	■ クラスターの詳細情報を出力する
(▼DocuShare連携設定
	▼基本情報
	N I 項目名 1 I 國際 國際
	2 团 植果名称
	▼データー出力対象の帳票を表示する
	▼クラスター詳細の出力設定
	▼DocuShare連携設定
	✓ DocuShareに連携する
	CSV出力フォルダー WWin-mip61tgdleUawfm(defTopName)csv/ PDD出力フォルダー WWin-mip61tgdleUawfm(defTopName)csv/
	EXCELILID 7 / 1/9- IWVIn-rrigo ftgdie0us/win(der lophame)/excel/
	日村フォーマット 日村フォーマット
	共有フォルダー WWin-mip61tgdle0lawfm
	<u> 共有フォルダー:ユーザー</u> matsuo
	▼基本情報

DocuShare連携(連携設定)

●帳票の自動出力設定

必ず、共通マスター設定にて帳票保存時の自動出力設定がされている必要があります。

▼DocuShare連携設定 次ページの置換文字列を使用できます。 ☑ DocuShareに連携する・・・DocuShare連携設定を有効にします。 CSV出力フォルダー \\Win-mjp61tgdle0\awfm\{defTopName}\csv\ DocuShare連携フォーマットCSV出力フォルダー • • PDF出力フォルダー Win-mjp61tgdle0\awfm\{defTopName}\pdf\ DocuShare連携PDF出力フォルダー EXCEL出力フォルダー Win-mjp61tgdle0\awfm\{defTopName}\excel\ DocuShare連携EXCEL出力フォルダー DocuShare連携DocuWorks出力フォルダー DocuWorks出力フォルダー Win-mjp61tgdle0\awfm\{defTopName}\dw\ • • CSV内日付フォーマット(.NET Framework仕様) yyyyMMdd • • 日付フォーマット \\Win-mjp61tgdle0\awfm ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダーパス 共有フォルダー 共有フォルダー:ユーザー ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダー接続ユーザーID Win-mip61tgdle0\awfm • • 共有フォルダー:パスワード ApeosWare Flow Managementサーバー共有フォルダー接続パスワード • •

【その他注意事項・説明等】

- ■出力されるCSVファイル名は、「~.pdf.csv」「~xlsx.csv」「~xdw.csv」の様に「対象のファイル名.拡張子.csv」となります。
- ■出力されるCSVファイルはヘッダ行が出力されません。
- ■出力されるCSVファイルは入力データー内の改行は全て削除されます。
- ■出力フォルダーには自動帳票ファイル出力設定と同様に「{XXXX}」による置き換え文字を利用することができます。
- ■設定内容を保存するには「この定義の出力項目設定を保存する」「この定義の出力項目設定を保存する(自動出力)」の両方を押してください。
- ■フォルダ名には自動ファイル出力機能と同様に変数による指定が可能です。

出力項目の選択

この定義の出力項目設定を保存する		この定義の出力項目設定を保存する(自動出力用)
------------------	--	------------------------	---

・・・2つのボタンを両方押してください。

※共有フォルダー関連の設定は省略することでローカルフォルダーへのファイルコピーに利用することも可能です。 ※ネットワーク障害等により共有フォルダーに接続できなかった場合はi-Reporterアプリからの帳票保存時にエラーが発生します。

DocuShare連携(連携設定 – 置換文字列について)

●ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列 ファイル出力フォルダーには、置換文字列が使用出来ます。 置換文字列を使用する事により、動的な出力フォルダーを作成する事が可能になります。 置換文字列は、以下を用意しています。

置換文字列
{date} 入力完了時の日付ууууMMdd形式
{dateTime} 入力完了時の日時yyyyMMddHHmmss形式
{time} 入力完了時の時刻HHmmss形式 設定例)
{derTopId} 入力完了した入力帳票の帳票定義 I D ・ 帳票定義毎に出力する。 ¥¥Win-mip61tgdle0¥awfm
{defTopName} 入力完了した入力帳票の帳票定義名称 ・ 入力帳票毎に出力する。 XVWin min61tadle0Vawfm
{repTopId} 入力完了した入力帳票のID
{repTopName} 入力完了した入力帳票名称
{defTopName} 入力完了した入力帳票の帳票定義名称
{remarksValue1} 入力完了した入力帳票の備考1
入力完了した入力帳票の備考2~9
{remarksValue10} 入力完了した入力帳票の備考10
√publicStatus} 入力完了した入力帳票の公開フテータフ



ファイル出力フォルダーに使用できる置換文字列を追加しました。 {date}, {dateTime}, {time}, {publicStatus}